

注3

大学番号：国064

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

岡山大学大学院 教育学研究科  
教職実践専攻（専門職学位課程）

注2

## 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
令和元年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

大学院教育学研究科

＜教職実践専攻（専門職学位課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	( マキノ ヒロフミ ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	( タカハシ カヨ ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
研究科長	( ミムラ ユカリ ) 三村由香里 (平成30年4月1日)		
専攻長	( タカセ アツシ ) 高瀬淳 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教職実践専攻 （専門職学位課程）  教職修士（専門職）	教員養成関係	2年	45人	90人	基礎となる学部  教育学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	45 ( - ) [ - ]	-	45 ( - ) [ - ]	-	0.78倍	-	
志願者数	43 ( - ) [ - ]	-	37 ( - ) [ - ]	-			
受験者数	43 ( - ) [ - ]	-	35 ( - ) [ - ]	-			
合格者数	42 ( - ) [ - ]	-	35 ( - ) [ - ]	-			
B 入学者数	40 ( - ) [ - ]	-	31 ( - ) [ - ]	-			
入学定員超過率 B/A	0.88		0.68				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	40 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	31 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次	/		40 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	40 [ - ] ( - )		71 [ - ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	40 人	0 人	平成30年度	人	人	
令和元年度	71 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 教職実践専攻（専門職学位課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育課程編成の実践と課題A	1-2後③	1			1	1					
	教育課程編成の実践と課題B	1-2後④	1			1	1					
	特色あるカリキュラムの開発A	1-2後③	1			1	3					
	特色あるカリキュラムの開発B	1-2後④	1			1	3					
	教材開発と授業デザインA	1-2前①	1				1					
	教材開発と授業デザインB	1-2前②	1				1					
	授業の指導計画と学習開発A	1-2前①	1				1	1			兼1	
	授業の指導計画と学習開発B	1-2前②	1				1	1			兼1	
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A	1-2前①	1			2	1					
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B	1-2前②	1			2	1					
	特別支援教育の実践と課題A	1-2後③	1			2					兼1	
	特別支援教育の実践と課題B	1-2後④	1			2					兼1	
	学級・学年・学校経営の実践と課題A	1-2前①	1			2	1				兼1	
	学級・学年・学校経営の実践と課題B	1-2前②	1			2	1				兼1	
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA	1-2前①	1			2					兼1	
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントB	1-2前②	1			2					兼1	
	学校教育の役割と教員の職能開発A	1-2前①	1			3		1				
	学校教育の役割と教員の職能開発B	1-2前②	1			3		1				
	学校とコミュニティA	1-2後③	1			2						
	学校とコミュニティB	1-2後④	1			2						
	教育実践研究の方法ⅠA	1-2前①	1			3	2				兼2	
	教育実践研究の方法ⅠB	1-2前②	1			3	2				兼2	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育課程編成の実践と課題A	1-2①	1			1	2	1				
	教育課程編成の実践と課題B	1-2②	1			1	2	1				
	特色あるカリキュラムの開発A	1-2③	1				2	4				
	特色あるカリキュラムの開発B	1-2④	1				2	4				
	教材開発と授業デザインA	1-2①	1				4	2				兼1
	教材開発と授業デザインB	1-2②	1				4	2				兼1
	授業の指導計画と学習開発A	1-2③	1				3	2				
	授業の指導計画と学習開発B	1-2④	1				3	2				
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A	1-2①	1			2	2					
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B	1-2②	1			2	2					
	特別支援教育の実践と課題A	1-2③	1			1	1					兼1
	特別支援教育の実践と課題B	1-2④	1			1	1					兼1
	学級・学年・学校経営の実践と課題A	1-2①	1			1	2					
	学級・学年・学校経営の実践と課題B	1-2②	1			1	2					
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA	1-2③	1				4					兼1
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントB	1-2④	1				4					兼1
	学校教育の役割と教員の職能開発A	1-2①	1				3	1				
	学校教育の役割と教員の職能開発B	1-2②	1				3	1				
	学校とコミュニティA	1-2③	1			2						
	学校とコミュニティB	1-2④	1			2						
	教育実践研究の方法ⅠA	1-2①	1			1	4	1				兼2
	教育実践研究の方法ⅠB	1-2②	1			1	4	1				兼2
	教育実践研究の方法ⅡA(カリキュラム)	1-2③	1			1	2					
	教育実践研究の方法ⅡB(カリキュラム)	1-2④	1			1	2					

共通 科目	教育実践研究の 方法ⅡA(国語教 育)	1-2 後 ③	1		1	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(マネジ メント)	1-2 ③	1				1	3			
	教育実践研究の 方法ⅡB(国語教 育)	1-2 後 ④	1		1	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(マネジ メント)	1-2 ④	1				1	3			
	教育実践研究の 方法ⅡA(社会科 教育)	1-2 後 ③	1		2	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(地域協 働)	1-2 ③	1				3	1			
	教育実践研究の 方法ⅡB(社会科 教育)	1-2 後 ④	1		2	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(地域協 働)	1-2 ④	1				3	1			
	教育実践研究の 方法ⅡA(数学教 育)	1-2 後 ③	1		1	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(特別支 援教育)	1-2 ③	1						1		
	教育実践研究の 方法ⅡB(数学教 育)	1-2 後 ④	1		1	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(特別支 援教育)	1-2 ④	1						1		
	教育実践研究の 方法ⅡA(理科教 育)	1-2 後 ③	1		2		1			共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(養護教 育)	1-2 ③	1				2	1			
	教育実践研究の 方法ⅡB(理科教 育)	1-2 後 ④	1		2		1			共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(養護教 育)	1-2 ④	1				2	1			
	教育実践研究の 方法ⅡA(音楽教 育)	1-2 後 ③	1		1	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(国語教 育)	1-2 ③	1				2	1			
	教育実践研究の 方法ⅡB(音楽教 育)	1-2 後 ④	1		1	1				共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(国語教 育)	1-2 ④	1				2	1			
	教育実践研究の 方法ⅡA(美術教 育)	1-2 後 ③	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(社会科 教育)	1-2 ③	1				1	1			
	教育実践研究の 方法ⅡB(美術教 育)	1-2 後 ④	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(社会科 教育)	1-2 ④	1				1	1			
	教育実践研究の 方法ⅡA(保健体 育)	1-2 後 ③	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(数学教 育)	1-2 ③	1				2				
	教育実践研究の 方法ⅡB(保健体 育)	1-2 後 ④	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(数学教 育)	1-2 ④	1				2				
	教育実践研究の 方法ⅡA(技術教 育)	1-2 後 ③	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(理科教 育)	1-2 ③	1				1		1		
	教育実践研究の 方法ⅡB(技術教 育)	1-2 後 ④	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(理科教 育)	1-2 ④	1				1		1		
	教育実践研究の 方法ⅡA(家庭科 教育)	1-2 後 ③	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(音楽教 育)	1-2 ③	1				1				
	教育実践研究の 方法ⅡB(家庭科 教育)	1-2 後 ④	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(音楽教 育)	1-2 ④	1				1				
	教育実践研究の 方法ⅡA(英語教 育)	1-2 後 ③	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡA(美術教 育)	1-2 ③	1				1				
	教育実践研究の 方法ⅡB(英語教 育)	1-2 後 ④	1		1			1		共 通 科 目	教育実践研究の 方法ⅡB(美術教 育)	1-2 ④	1				1				
	小計(42科目)	-	42			23	8	3			兼5	小計(52科目)	-	52			23	11	2		兼5



授業アセスメント 技術とその応用A	1-2 前 ①	1	1	1					授業アセスメント 技術とその応用A	1-2 ①	1	1	1					兼1
授業アセスメント 技術とその応用B	1-2 前 ②	1	1	1					授業アセスメント 技術とその応用B	1-2 ②	1	1	1					兼1
指導と評価の理論 と実践A	1-2 後 ③	1		1					指導と評価の理論 と実践A	1-2 ③	1		2	1				
指導と評価の理論 と実践B	1-2 後 ④	1		1					指導と評価の理論 と実践B	1-2 ④	1		2	1				
学習指導の実践と 課題A	1-2 後 ③	1	1					兼1	学習指導の実践と 課題A	1-2 ③	1	3		1				兼1
学習指導の実践と 課題B	1-2 後 ④	1	1					兼1	学習指導の実践と 課題B	1-2 ④	1	3		1				兼1
教科のデザインと 実践(国語教育)	1-2 前 ①	1	1	1					教科のデザインと 実践(国語教育)	1-2 ①	1	2	2					
教科のデザインと 実践(社会科教 育)	1-2 前 ①	1	2	1					教科のデザインと 実践(社会科教 育)	1-2 ①	1	1	1					
教科のデザインと 実践(数学教育)	1-2 前 ②	1	1	1					教科のデザインと 実践(数学教育)	1-2 ②	1	2						
教科のデザインと 実践(理科教育)	1-2 前 ②	1	2		1				教科のデザインと 実践(理科教育)	1-2 ②	1	1		1				
教科のデザインと 実践(音楽教育)	1-2 前 ①	1	1	1					教科のデザインと 実践(音楽教育)	1-2 ①	1	1	1					
教科のデザインと 実践(美術教育)	1-2 前 ①	1	1						教科のデザインと 実践(美術教育)	1-2 ①	1	1	1					
教科のデザインと 実践(保健体育)	1-2 前 ②	1	1		1				教科のデザインと 実践(保健体育)	1-2 ②	1	1	1	1				
教科のデザインと 実践(技術教育)	1-2 前 ②	1	1						教科のデザインと 実践(技術教育)	1-2 ②	1	1	1					
教科のデザインと 実践(家庭科教 育)	1-2 前 ②	1	1						教科のデザインと 実践(家庭科教 育)	1-2 ②	1	1	1					
教科のデザインと 実践(英語教育)	1-2 前 ①	1	1						教科のデザインと 実践(英語教育)	1-2 ①	1	2		1				
道徳科の理論と実 践A	1-2 後 ③	1		1					学校保健のデザイ ンと実践	1-2 ①	1	2	1					
道徳科の理論と実 践B	1-2 後 ④	1		1					道徳科の理論と実 践A	1-2 ③	1	1	1					
子ども分析と学級 経営A	1-2 後 ③	1	1	2					道徳科の理論と実 践B	1-2 ④	1	1	1					
子ども分析と学級 経営B	1-2 後 ④	1	1	2					子ども分析と学級 経営A	1-2 ③	1	2	3					
生徒指導と発達支 援教育A	1-2 前 ①	1	2	2				兼2	子ども分析と学級 経営B	1-2 ④	1	2	3					
生徒指導と発達支 援教育B	1-2 前 ②	1	1	1				兼2	生徒指導と発達支 援教育A	1-2 ①	1	1	2					兼2
通常学級・特別支 援学級の授業づく り・学級づくりA	1-2 後 ③	1	2					兼1	生徒指導と発達支 援教育B	1-2 ②	1	1	2					兼2
通常学級・特別支 援学級の授業づく り・学級づくりB	1-2 後 ④	1	2					兼1	通常学級・特別支 援学級の授業づく り・学級づくりA	1-2 ③	1	1	1					兼1
特別支援教育コー ディネーター実践 論A	1-2 後 ③	1	2	1	1			兼3	通常学級・特別支 援学級の授業づく り・学級づくりB	1-2 ④	1	1	1					兼1
特別支援教育コー ディネーター実践 論B	1-2 後 ④	1	2	1	1			兼3	特別支援教育コー ディネーター実践 論A	1-2 ③	1	2	1	1				兼3
スクールリーダー と組織開発A	1-2 前 ①	1	8	5	1				特別支援教育コー ディネーター実践 論B	1-2 ④	1	2	1	1				兼3
スクールリーダー と組織開発B	1-2 前 ②	1	8	5	1				スクールリーダー と組織開発A	1-2 ①	1	8	6					
学校経営戦略と評 価A	1-2 前 ①	1	1	1					スクールリーダー と組織開発B	1-2 ③	1	8	6					
									学校経営戦略と評 価A	1-2 ④	1	1	1					
										1-2 ①	1	1	1					

選 択 科 目	学校経営戦略と評価B	1・2 前 ②	1	1	1					学校経営戦略と評価B	1・2 ②	1	1	1				
	校内研修のマネジメントとコンサルテーションA	1・2 後 ③	1		2					校内研修のマネジメントとコンサルテーションA	1・2 ③	1	1	3				
	校内研修のマネジメントとコンサルテーションB	1・2 後 ④	1		2					校内研修のマネジメントとコンサルテーションB	1・2 ④	1	1	3				
	教師の職能成長とコーチングA	1・2 後 ③	1	2		1		兼1		教師の職能成長とコーチングA	1・2 ③	1	1	2				
	教師の職能成長とコーチングB	1・2 後 ④	1	2		1		兼1		教師の職能成長とコーチングB	1・2 ④	1	1	2				
	教育法規の理論と実務演習A	1・2 前 ①	1	1						教育法規の理論と実務演習A	1・2 ①	1	2					
	教育法規の理論と実務演習B	1・2 前 ②	1	1						教育法規の理論と実務演習B	1・2 ②	1	2					
	アクティブラーニングの理論と実践	1・2 後 ③	1	1	1			兼1		アクティブラーニングの理論と実践	1・2 ③	1	1	1				兼1
	学校におけるICT活用	1・2 後 ④	1	1				兼1		学校におけるICT活用	1・2 ④	1	2					兼1
	CST教育の理論と実践	1・2 後 ③	1	1				兼1		CST教育の理論と実践	1・2 ③	1	1					兼1
	小学校英語の理論と実践	1・2 後 ④	1	1						小学校英語の理論と実践	1・2 ④	1	2	1				
	教育実践演習A	1・2 通年	6	2				兼1		教育実践演習A	1・2 通年	6	2					兼1
	教育実践演習B	1・2 通年	4	2				兼1		教育実践演習B	1・2 通年	4	2					兼1
	教育実践演習C	1・2 通年	4	2				兼1		教育実践演習C	1・2 通年	4	2					兼1
	教育実践演習D	1・2 通年	2	2				兼1		教育実践演習D	1・2 通年	2	2					兼1
	教育実践研究Ⅰ(課題発見)	1・2 前 ① ②	2	23	8	2				教育実践研究Ⅰ(課題発見)	1・2 ① ②	2	23	11	2			
	教育実践研究Ⅱ(課題解決)	1・2 後 ③ ④	2	23	8	2				教育実践研究Ⅱ(課題解決)	1・2 ③ ④	2	23	11	2			
	教育実践特別研究(課題探究)カリキュラム	2通年	4	3	1			兼1		教育実践特別研究(課題探究)カリキュラム	1・2 通年	4	1	2				
	教育実践特別研究(課題探究)マネジメント	2通年	4	1	2	1				教育実践特別研究(課題探究)マネジメント	1・2 通年	4	1	3				
	教育実践特別研究(課題探究)地域協働	2通年	4	1	2					教育実践特別研究(課題探究)地域協働	1・2 通年	4	3	1				
	教育実践特別研究(課題探究)特別支援教育	2通年	4	1						教育実践特別研究(課題探究)特別支援教育	1・2 通年	4		1				
	教育実践特別研究(課題探究)養護教育	2通年	4	1	1					教育実践特別研究(課題探究)養護教育	1・2 通年	4	2	1				
	教育実践特別研究(課題探究)国語教育	2通年	4	1	1					教育実践特別研究(課題探究)国語教育	1・2 通年	4	2	2				
	教育実践特別研究(課題探究)社会科教育	2通年	4	2	1					教育実践特別研究(課題探究)社会科教育	1・2 通年	4	1	1				
教育実践特別研究(課題探究)数学教育	2通年	4	1	1					教育実践特別研究(課題探究)数学教育	1・2 通年	4	2						
教育実践特別研究(課題探究)理科教育	2通年	4	2		1				教育実践特別研究(課題探究)理科教育	1・2 通年	4	1		1				
教育実践特別研究(課題探究)音楽教育	2通年	4	1	1					教育実践特別研究(課題探究)音楽教育	1・2 通年	4	1						
教育実践特別研究(課題探究)美術教育	2通年	4	1						教育実践特別研究(課題探究)美術教育	1・2 通年	4	1						
教育実践特別研究(課題探究)保健体育	2通年	4	1		1				教育実践特別研究(課題探究)保健体育	1・2 通年	4	1	1					

教育実践特別研究(課題探究)技術教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題探究)技術教育	1-2通年	4		1						
教育実践特別研究(課題探究)家庭科教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題探究)家庭科教育	1-2通年	4		1						
教育実践特別研究(課題探究)英語教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題探究)英語教育	1-2通年	4		2		1				
教育実践研究Ⅰ(課題分析)	1-2前①②	2		23	8	2				教育実践研究Ⅰ(課題分析)	1-2前①②	2		23	11	2				
教育実践研究Ⅱ(課題提案)	1-2後③④	2		23	8	2				教育実践研究Ⅱ(課題提案)	1-2後③④	2		23	11	2				
教育実践特別研究(課題検証)カリキュラム	2通年	4		3	1			兼1		教育実践特別研究(課題検証)カリキュラム	1-2通年	4		1	2					
教育実践特別研究(課題検証)マネジメント	2通年	4		1	2	1				教育実践特別研究(課題検証)マネジメント	1-2通年	4		1	3					
教育実践特別研究(課題検証)地域協働	2通年	4		2	2					教育実践特別研究(課題検証)地域協働	1-2通年	4		3	1					
教育実践特別研究(課題検証)特別支援教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題検証)特別支援教育	1-2通年	4			1					
教育実践特別研究(課題検証)養護教育	2通年	4		1	1					教育実践特別研究(課題検証)養護教育	1-2通年	4		2	1					
教育実践特別研究(課題検証)国語教育	2通年	4		1	1					教育実践特別研究(課題検証)国語教育	1-2通年	4		2	2					
教育実践特別研究(課題検証)社会科教育	2通年	4		2	1					教育実践特別研究(課題検証)社会科教育	1-2通年	4		1	1					
教育実践特別研究(課題検証)数学教育	2通年	4		1	1					教育実践特別研究(課題検証)数学教育	1-2通年	4		2						
教育実践特別研究(課題検証)理科教育	2通年	4		2		1				教育実践特別研究(課題検証)理科教育	1-2通年	4		1		1				
教育実践特別研究(課題検証)音楽教育	2通年	4		1	1					教育実践特別研究(課題検証)音楽教育	1-2通年	4		1						
教育実践特別研究(課題検証)美術教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題検証)美術教育	1-2通年	4		1						
教育実践特別研究(課題検証)保健体育	2通年	4		1	1					教育実践特別研究(課題検証)保健体育	1-2通年	4		1	1					
教育実践特別研究(課題検証)技術教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題検証)技術教育	1-2通年	4		1						
教育実践特別研究(課題検証)家庭科教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題検証)家庭科教育	1-2通年	4		1						
教育実践特別研究(課題検証)英語教育	2通年	4		1						教育実践特別研究(課題検証)英語教育	1-2通年	4		2		1				
小計(78科目)	-	184		23	8	2		兼11		小計(79科目)	-	185		23	11	2				兼8
課題発見実習	1-2前①②	3		23	8	2				課題発見実習	1-2前①②	3		23	11	2				
課題解決実習	1-2前①②	5		23	8	2				課題解決実習	1-2後③④	5		23	11	2				
課題探究実習	1-2後③④	2		23	8	2				課題探究実習	2通年	2		23	11	2				
課題分析実習	1-2通年	4		23	8	2				課題分析実習	1-2通年	4		23	11	2				
課題検証実習	1-2通年	6		23	8	2				課題検証実習	2通年	6		23	11	2				
教育実践特別実習A	2前①②	4		23	8	2				教育実践特別実習A	1-2前①②	4		23	11	2				
教育実践特別実習B	2後③④	4		23	8	2				教育実践特別実習B	1-2後③④	4		23	11	2				

教育実践特別実習C	2前 ①	2			23	8	2			
教育実践特別実習D	2後 ② ③ ④	2			23	8	2			
小計(9科目)	-	32			23	8	2			
合計(129科目)	-	74	184		23	8	2			兼11
卒業要件及び履修方法										
共通科目24単位、選択科目12単位、学校における実習10単位を修得し、46単位以上修得すること。										

教育実践特別実習C	1・2 ①	2			23	11	2			
教育実践特別実習D	1・2 ② ③ ④	2			23	11	2			
小計(9科目)	-	32			23	11	2			
合計(140科目)	-	84	185		23	11	2			兼8
卒業要件及び履修方法										
共通科目24単位、選択科目12単位、学校における実習10単位を修得し、46単位以上修得すること。										

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科	教育課程編成の実践と課題A	1-2 ①	1			1	2	1				
	教育課程編成の実践と課題B	1-2 ②	1			1	2	1				
	特色あるカリキュラムの開発A	1-2 ③	1			2	4					
	特色あるカリキュラムの開発B	1-2 ④	1			2	4					
	教材開発と授業デザインA	1-2 ①	1			4	2					兼1
	教材開発と授業デザインB	1-2 ②	1			4	2					兼1
	授業の指導計画と学習開発A	1-2 ①	1			3	2					
	授業の指導計画と学習開発B	1-2 ②	1			3	2					
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A	1-2 ①	1			2	1	1				
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B	1-2 ②	1			2	1	1				
	特別支援教育の実践と課題A	1-2 ③	1			2	1					兼2
	特別支援教育の実践と課題B	1-2 ④	1			2						兼1
	学級・学年・学校経営の実践と課題A	1-2 ①	1			1	2					
	学級・学年・学校経営の実践と課題B	1-2 ②	1			1	2					
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA	1-2 ③	1			4						兼1
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントB	1-2 ④	1			4						兼1
	学校教育の役割と教員の職能開発A	1-2 ①	1			2	1	1				
	学校教育の役割と教員の職能開発B	1-2 ②	1			2	1	1				
	学校とコミュニティA	1-2 ③	1			2						
	学校とコミュニティB	1-2 ④	1			2						
	教育実践研究の方法IA	1-2 ①	1			1	2	3				兼2
	教育実践研究の方法IB	1-2 ②	1			1	2	3				兼2
	教育実践研究の方法IIA(カリキュラム)	1-2 ③	1			1	2					
	教育実践研究の方法IIB(カリキュラム)	1-2 ④	1			1	2					
	教育実践研究の方法IIA(マネジメント)	1-2 ③	1			1	2	1				
	教育実践研究の方法IIB(マネジメント)	1-2 ④	1			1	2	1				
教育実践研究の方法IIA(地域協働)	1-2 ③	1			3	1						

目	教育実践研究の方法ⅡB(地域協働)	1-2 ④	1			3	1							
	教育実践研究の方法ⅡA(特別支援教育)	1-2 ③	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡB(特別支援教育)	1-2 ④	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡA(養護教育)	1-2 ③	1			3	1							
	教育実践研究の方法ⅡB(養護教育)	1-2 ④	1			3	1							
	教育実践研究の方法ⅡA(国語教育)	1-2 ③	1			2	2							
	教育実践研究の方法ⅡB(国語教育)	1-2 ④	1			2	2							
	教育実践研究の方法ⅡA(社会科教育)	1-2 ③	1			1	1							
	教育実践研究の方法ⅡB(社会科教育)	1-2 ④	1			1	1							
	教育実践研究の方法ⅡA(数学教育)	1-2 ③	1			2								
	教育実践研究の方法ⅡB(数学教育)	1-2 ④	1			2								
	教育実践研究の方法ⅡA(理科教育)	1-2 ③	1			1		1						
	教育実践研究の方法ⅡB(理科教育)	1-2 ④	1			1		1						
	教育実践研究の方法ⅡA(音楽教育)	1-2 ③	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡB(音楽教育)	1-2 ④	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡA(美術教育)	1-2 ③	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡB(美術教育)	1-2 ④	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡA(保健体育)	1-2 ③	1			1		1						
	教育実践研究の方法ⅡB(保健体育)	1-2 ④	1			1		1						
	教育実践研究の方法ⅡA(技術教育)	1-2 ③	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡB(技術教育)	1-2 ④	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡA(家庭科教育)	1-2 ③	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡB(家庭科教育)	1-2 ④	1			1								
	教育実践研究の方法ⅡA(英語教育)	1-2 ③	1			2								
	教育実践研究の方法ⅡB(英語教育)	1-2 ④	1			2								
	小計(52科目)			52			22	8	3					兼5
	授業アセスメント 技術とその応用A	1-2 ①			1		1	1						兼1
	授業アセスメント 技術とその応用B	1-2 ②			1		1	1						兼1
	指導と評価の理論 と実践A	1-2 ③			1		2	1						
	指導と評価の理論 と実践B	1-2 ④			1		2	1						

学習指導の実践と課題A	1-2 ③	1	3				
学習指導の実践と課題B	1-2 ④	1	3				
教科のデザインと実践(国語教育)	1-2 ①	1	2	2			
教科のデザインと実践(社会科教育)	1-2 ①	1	1	1			
教科のデザインと実践(数学教育)	1-2 ②	1	2				
教科のデザインと実践(理科教育)	1-2 ②	1	1		1		
教科のデザインと実践(音楽教育)	1-2 ①	1	1				
教科のデザインと実践(美術教育)	1-2 ①	1	1				
教科のデザインと実践(保健体育)	1-2 ②	1	1		1		
教科のデザインと実践(技術教育)	1-2 ②	1	1				
教科のデザインと実践(家庭科教育)	1-2 ②	1	1				
教科のデザインと実践(英語教育)	1-2 ①	1	2				
学校保健のデザインと実践	1-2 ②	1	3	1			
道徳科の理論と実践A	1-2 ③	1	1	1			
道徳科の理論と実践B	1-2 ④	1	1	1			
子ども分析と学級経営A	1-2 ③	1	3	2			
子ども分析と学級経営B	1-2 ④	1	3	2			
生徒指導と発達支援教育A	1-2 ①	1	2	2	1		兼3
生徒指導と発達支援教育B	1-2 ②	1	2	2	1		兼3
通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA	1-2 ③	1	2				兼1
通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB	1-2 ④	1	1				
特別支援教育コーディネーター実践論A	1-2 ③	1	2	1	1		兼3
特別支援教育コーディネーター実践論B	1-2 ④	1	2	1	1		兼3
スクールリーダーと組織開発A	1-2 ①	1	9	5			
スクールリーダーと組織開発B	1-2 ③ ④	1	9	5			
学校経営戦略と評価A	1-2 ①	1	1	1			
学校経営戦略と評価B	1-2 ②	1	1	1			
校内研修のマネジメントとコンサルテーションA	1-2 ③	1	1	2	1		
校内研修のマネジメントとコンサルテーションB	1-2 ④	1	1	2	1		
教師の職能成長とコーチングA	1-2 ③	1	1		2		

選 択 科 目	教師の職能成長と コーチングB	1・2 ④	1	1	2		
	教育法規の理論と 実務演習A	1・2 ①	1	2			
	教育法規の理論と 実務演習B	1・2 ②	1	2			
	アクティブラーニン グの理論と実践	1・2 ③	1	1	1		兼1
	学校におけるICT 活用	1・2 ④	1	2			兼1
	CST教育の理論と 実践	1・2 ③	1	1			兼1
	小学校英語の理 論と実践	1・2 ④	1	2			
	教育実践演習A	1・2 通年	6	2			兼1
	教育実践演習B	1・2 通年	4	2			兼1
	教育実践演習C	1・2 通年	4	2			兼1
	教育実践演習D	1・2 通年	2	2			兼1
	教育実践研究 I (課題発見)	1・2 ① ②	2	22	8	3	
	教育実践研究 II (課題解決)	1・2 ③ ④	2	22	8	3	
	教育実践特別研 究(課題探究)カリ キュラム	2通 年	4	2	1		兼1
	教育実践特別研 究(課題探究)マネ ジメント	2通 年	4	1	2	1	
	教育実践特別研 究(課題探究)地 域協働	2通 年	4	1	2		
	教育実践特別研 究(課題探究)特 別支援教育	2通 年	4	1			
	教育実践特別研 究(課題探究)養 護教育	2通 年	4	3	1		
	教育実践特別研 究(課題探究)国 語教育	2通 年	4	2	2		
	教育実践特別研 究(課題探究)社 会科教育	2通 年	4	1	1		
	教育実践特別研 究(課題探究)数 学教育	2通 年	4	2			
	教育実践特別研 究(課題探究)理 科教育	2通 年	4	1		1	
	教育実践特別研 究(課題探究)音 楽教育	2通 年	4	1			
	教育実践特別研 究(課題探究)美 術教育	2通 年	4	1		1	
	教育実践特別研 究(課題探究)保 健体育	2通 年	4	1			
	教育実践特別研 究(課題探究)技 術教育	2通 年	4	1			
	教育実践特別研 究(課題探究)家 庭科教育	2通 年	4	2			
	教育実践特別研 究(課題探究)英 語教育	2通 年	4	2			
	教育実践研究 I (課題分析)	1・2 ① ②	2	22	8	3	



教育実践研究Ⅱ (課題提案)	1・2 ③ ④	2		22	8	3			
教育実践特別研究(課題検証)カリキュラム	2通年	4		2	1				兼1
教育実践特別研究(課題検証)マネジメント	2通年	4		1	2	1			
教育実践特別研究(課題検証)地域協働	2通年	4		2	2				
教育実践特別研究(課題検証)特別支援教育	2通年	4		1					
教育実践特別研究(課題検証)養護教育	2通年	4		3	1				
教育実践特別研究(課題検証)国語教育	2通年	4		1	1				
教育実践特別研究(課題検証)社会科教育	2通年	4		1	1				
教育実践特別研究(課題検証)数学教育	2通年	4		2					
教育実践特別研究(課題検証)理科教育	2通年	4		1		1			
教育実践特別研究(課題検証)音楽教育	2通年	4		1					
教育実践特別研究(課題検証)美術教育	2通年	4		1		1			
教育実践特別研究(課題検証)保健体育	2通年	4		1					
教育実践特別研究(課題検証)技術教育	2通年	4		1					
教育実践特別研究(課題検証)家庭科教育	2通年	4		2					
教育実践特別研究(課題検証)英語教育	2通年	4							
小計(79科目)			185	22	8	3			兼8
課題発見実習	1・2 ① ②	3		22	8	3			
課題解決実習	1・2 ① ②	5		22	8	3			
課題探究実習	1・2 ③ ④	2		22	8	3			
課題分析実習	1・2 通年	4		22	8	3			
課題検証実習	1・2 通年	6		22	8	3			
教育実践特別実習A	2① ②	4		22	8	3			
教育実践特別実習B	2③ ④	4		22	8	3			
教育実践特別実習C	2① ②	2		22	8	3			
教育実践特別実習D	2③ ④	2		22	8	3			
小計(9科目)	-	32		22	8	3			
合計(140科目)	-	84	185	22	8	3			兼8
卒業要件及び履修方法									
共通科目24単位、選択科目12単位、学校における実習10単位を修得し、46単位以上修得すること。									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年度より4学期制を導入したため全ての授業の配当年次の欄で前期後期の記述を削除し訂正。
- ・担当教員の見直しにより、「教育課程編成の実践と課題A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・時間割の変更により、「教育課程編成の実践と課題A」の配当年次を「1・2年次3学期」から「1・2年次1学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育課程編成の実践と課題B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・時間割の変更により、「教育課程編成の実践と課題B」の配当年次を「1・2年次4学期」から「1・2年次2学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「特色あるカリキュラムの開発A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「特色あるカリキュラムの開発B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教材開発と授業デザインA」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授4」、「准教授1」から「准教授2」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教材開発と授業デザインB」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授4」、「准教授1」から「准教授2」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「授業の指導計画と学習開発A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授3」、「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「授業の指導計画と学習開発B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授3」、「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「特別支援教育の実践と課題A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学級・学年・学校経営の実践と課題A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学級・学年・学校経営の実践と課題B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育の役割と教員の職能開発A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校教育の役割と教員の職能開発B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校保健・学校安全とリスクマネジメントA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に変更。
- ・時間割の変更により、「学校保健・学校安全とリスクマネジメントA」の配当年次を「1・2年次1学期」から「1・2年次3学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校保健・学校安全とリスクマネジメントB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授4」に変更。
- ・時間割の変更により、「学校保健・学校安全とリスクマネジメントB」の配当年次を「1・2年次2学期」から「1・2年次4学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅠA」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」、「講師0」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅠB」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授1」、「講師0」から「講師3」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡA（カリキュラム）」を新設、専任教員等として「教授1」、「准教授2」を配置。配当年次は「1・2年次3学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡB（カリキュラム）」を新設、専任教員等として「教授1」、「准教授2」を配置。配当年次は「1・2年次4学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡA（マネジメント）」を新設、専任教員等として「教授1」、「准教授2」、「講師1」を配置。配当年次は「1・2年次3学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡB（マネジメント）」を新設、専任教員等として「教授1」、「准教授2」、「講師1」を配置。配当年次は「1・2年次4学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡA（地域協働）」を新設、専任教員等として「教授3」、「准教授1」を配置。配当年次は「1・2年次3学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡB（地域協働）」を新設、専任教員等として「教授3」、「准教授1」を配置。配当年次は「1・2年次4学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡA（特別支援教育）」を新設、専任教員等として「教授1」を配置。配当年次は「1・2年次3学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡB（特別支援教育）」を新設、専任教員等として「教授1」を配置。配当年次は「1・2年次4学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡA（養護教育）」を新設、専任教員等として「教授3」、「准教授1」を配置。配当年次は「1・2年次3学期」とする。
- ・カリキュラム充実のため、「教育実践研究の方法ⅡB（養護教育）」を新設、専任教員等として「教授3」、「准教授1」を配置。配当年次は「1・2年次4学期」とする。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（国語教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（国語教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（社会科教育）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（社会科教育）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（数学教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（数学教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（理科教育）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（理科教育）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（音楽教育）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（音楽教育）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（英語教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（英語教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「授業アセスメント技術とその応用A」の専任教員等の配置「兼任0」を「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「授業アセスメント技術とその応用B」の専任教員等の配置「兼任0」を「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「指導と評価の理論と実践A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「指導と評価の理論と実践B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」に変更。

- ・担当教員の見直しにより、「学習指導の実践と課題A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学習指導の実践と課題B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（国語教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（社会科教育）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（数学教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（理科教育）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（音楽教育）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（英語教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「学校保健のデザインと実践」を新設、専任教員等として「教授3」、「准教授1」を配置。配当年度は「1・2年次2学期」とする。
- ・担当教員の見直しにより、「道徳科の理論と実践A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「道徳科の理論と実践B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「子ども分析と学級経営A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「子ども分析と学級経営B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生徒指導と発達支援教育A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生徒指導と発達支援教育B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」、「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「スクールリーダーと組織開発A」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授9」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「スクールリーダーと組織開発B」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授9」、「講師1」から「講師0」に変更。配当年度を「1・2年次2学期」から「1・2年次3・4学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「校内研修のマネジメントとコンサルテーションA」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「校内研修のマネジメントとコンサルテーションB」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教師の職能成長とコーチングA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教師の職能成長とコーチングB」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師1」から「講師2」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育法規の理論と実務演習A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育法規の理論と実務演習B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校におけるICT活用」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「小学校英語の理論と実践」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）カリキュラム」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）養護教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）国語教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）社会科教育」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）数学教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）理科教育」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）音楽教育」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）英語教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）カリキュラム」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）養護教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）社会科教育」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）数学教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）理科教育」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）音楽教育」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題検証）英語教育」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「課題発見実習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「課題解決実習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「課題探究実習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「課題分析実習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「課題検証実習」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別実習A」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別実習B」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別実習C」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。

・担当教員の見直しにより、「教育実践特別実習D」の専任教員等の配置を「教授23」から「教授22」、「講師2」から「講師3」に変更。

## 【令和元年度】

- ・時間割の変更により、「授業の指導計画と学習開発A」の配当年次を「1・2年次1学期」から「1・2年次3学期」に変更。
- ・時間割の変更により、「授業の指導計画と学習開発B」の配当年次を「1・2年次2学期」から「1・2年次4学期」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「特別支援教育の実践と課題A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「特別支援教育の実践と課題B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任、見直しにより、「学校教育の役割と教員の職能開発A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任、見直しにより、「学校教育の役割と教員の職能開発B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教育実践研究の方法ⅠA」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授4」、「講師3」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教育実践研究の方法ⅠB」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授4」、「講師3」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教育実践研究の方法ⅡA（マネジメント）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教育実践研究の方法ⅡB（マネジメント）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（特別支援教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（特別支援教育）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（養護教育）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（養護教育）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（国語教育）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（国語教育）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教育実践研究の方法ⅡA（保健体育）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教育実践研究の方法ⅡB（保健体育）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡA（英語教育）」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究の方法ⅡB（英語教育）」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学習指導の実践と課題A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学習指導の実践と課題B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教科のデザインと実践（保健体育）」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教科のデザインと実践（英語教育）」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「学校保健のデザインと実践」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・時間割の変更により、「学校保健のデザインと実践」の配当年次を「1・2年次2学期」から「1・2年次1学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「子ども分析と学級経営A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「子ども分析と学級経営B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生徒指導と発達支援教育A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任3」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生徒指導と発達支援教育B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「講師1」から「講師0」、「兼任3」から「兼任2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・時間割の変更により、「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA」の配当年次を「1・2年次3学期」から「1・2年次3・4学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・時間割の変更により、「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB」の配当年次を「1・2年次4学期」から「1・2年次3・4学期」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「スクールリーダーと組織開発A」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」、「准教授5」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「スクールリーダーと組織開発B」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」、「准教授5」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「校内研修のマネジメントとコンサルテーションA」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「校内研修のマネジメントとコンサルテーションB」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教師の職能成長とコーチングA」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「講師2」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「教師の職能成長とコーチングB」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授2」、「講師2」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「小学校英語の理論と実践」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「准教授8」から「准教授11」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「准教授8」から「准教授11」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別研究（課題探究）カリキュラム」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授2」、「兼任1」から「兼任0」に変更。
- ・時間割の変更により、「教育実践特別研究（課題探究）カリキュラム」の配当年次を「2年次通年」から「1・2年次通年」に変更。



- ・担当教員の見直しにより、「教育実践特別実習D」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「准教授8」から「准教授11」、「講師3」から「講師2」に変更。
- ・時間割の変更により、「教育実践特別実習D」の配当年次を「2年次3・4学期」から「1・2年次3・4学期」に変更。

- (注) ・ 2(1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
51 科目	78 科目	0 科目	129 科目	61 科目 [ 10 ]	79 科目 [ 1 ]	科目 [ ]	140 科目 [ 11 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
該当なし						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

記入不要
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{129} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	671,441 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	671,441 m <sup>2</sup>			
	運動場用地	92,955 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	92,955 m <sup>2</sup>			
	小 計	764,396 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	764,396 m <sup>2</sup>			
	そ の 他	41,161 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	41,161 m <sup>2</sup>			
	合 計	805,557 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	805,557 m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		346,753 m <sup>2</sup> ( 346,753 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> ( 0 m <sup>2</sup> )	346,753 m <sup>2</sup> ( 346,753 m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 13 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月専任教員増のため(元)		
	教育学研究科 教職実践専攻			33 36 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明なため、大学全体の数(機械・器具、標本を除く) 購入・廃棄のため(元)
	教育学研究科 教職実践専攻	<del>2,049,625</del> <del>(679,361)</del> 2,033,948 (672,573) <del>(2,049,625</del> <del>(679,361)</del> (2,033,948 (672,573))	<del>49,858</del> <del>(17,410)</del> 50,918 (17,739) <del>(49,858</del> <del>(17,410)</del> (50,918 (17,739))	<del>22,230</del> <del>(22,225)</del> 22,988 (22,983) <del>(22,230</del> <del>(22,225)</del> (22,988 (22,983))	<del>5,537</del> 6,216 <del>(5,537)</del> (6,216)	3 (3)	0 (0)	
	計	<del>2,049,625</del> <del>(679,361)</del> 2,033,948 (672,573) <del>(2,049,625</del> <del>(679,361)</del> (2,033,948 (672,573))	<del>49,858</del> <del>(17,410)</del> 50,918 (17,739) <del>(49,858</del> <del>(17,410)</del> (50,918 (17,739))	<del>22,230</del> <del>(22,225)</del> 22,988 (22,983) <del>(22,230</del> <del>(22,225)</del> (22,988 (22,983))	<del>5,537</del> 6,216 <del>(5,537)</del> (6,216)	3 (3)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 三朝地区記入漏れの追記のため(元)		
	<del>20,738</del> 20,813 m <sup>2</sup>	<del>1,553</del> 1,573 席		<del>1,514,666</del> 1,521,361 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	10,897 m <sup>2</sup>	陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部					学士(文学)、学士(学術)	1.02			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.02		平成16年度		
教育学部					学士(教育学)、学士(学術)	1.01			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000		1.02		平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.00		昭和53年度		
法学部					学士(法学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科										
昼間コース	4	205	—	820		1.02		平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.08		平成16年度		
経済学部					学士(経済学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科										
昼間コース	4	205	—	820		1.03		平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.07		平成16年度		
理学部					学士(理学)、学士(学術)	1.05			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	3年次20	80		1.03		平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.04		平成7年度		
化学科	4	30		120		1.07		平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.06		平成7年度		
地球科学科	4	25		100		1.07		平成7年度		
医学部					学士(医学)、学士(看護学)、学士(保健学)、学士(学術)	0.99			岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	2年次5	709		1.00	平成30年度	昭和24年度		
保健学科						0.98				
看護学専攻	4	80	3年次10	340		0.98		平成10年度		
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170		0.99		平成10年度		
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170		0.99		平成10年度		
歯学部					学士(歯学)	1.00			岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	48	2年次5	308		1.00		昭和54年度		学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学)、学士(創薬科学)、学士(学術)	1.02			岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	240		1.02		平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.02		平成18年度		
工学部					学士(工学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械システム系学科	4	160	3年次30	640		1.02		平成23年度		
電気通信系学科	4	100		400		1.04		平成23年度		
情報系学科	4	60		240		1.01		平成23年度		
化学生命系学科	4	140		560		1.03		平成23年度		

環境理工学部				学士(環境理工学)、学士(学術)	1.04				岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.01	平成6年度				
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.06	平成6年度				
環境管理工学科	4	40	—	160	1.05	平成6年度				
環境物質工学科	4	40	—	160	1.06	平成6年度				
農学部				学士(農学)、学士(学術)	1.03				岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.03	昭和61年度				
大学全体		2,195	2年次10 3年次70	9,377	—	1.01	—	—	—	
教育学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)				修士(教育学)	1.17					
教育科学専攻	2	37	—	74	1.17	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
学校教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
発達支援学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
教科教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
教育臨床心理学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
(専門職学位課程)				教職修士(専門職)	0.78					
教職実践専攻	2	45	—	90	0.78	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
社会文化科学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)				修士(文学)、修士(法学)、修士(経済学)、修士(経営学)、修士(公共政策学)、修士(文化科学)、修士(学術)	0.55					
国際社会専攻	2	14	—	28	0.46	平成30年度				
日本・アジア文化専攻	2	12	—	24	0.79	平成30年度				
人間社会文化専攻	2	30	—	60	0.55	平成30年度				
法政理論専攻	2	15	—	30	0.33	平成30年度				
経済理論・政策専攻	2	6	—	12	0.49	平成30年度				
組織経営専攻	2	11	—	22	0.77	平成18年度				平成30年度から定員減 14→11
社会文化基礎学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度				平成30年度より学生募集停止
比較社会文化学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度				
公共政策科学専攻	2	—	—	—	—	平成18年度				
(博士後期課程)				博士(文学)、博士(法学)、博士(経済学)、博士(経営学)、博士(文化科学)、博士(学術)	0.66					
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.66	平成16年度				
自然科学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学)、修士(工学)、修士(学術)	1.08					
数理解理学専攻	2	38	—	76	0.82	平成11年度				
分子科学専攻	2	24	—	48	1.01	平成17年度				
生物科学専攻	2	22	—	44	0.95	平成17年度				
地球科学専攻	2	16	—	32	0.96	平成11年度				
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.20	平成11年度				
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.13	平成11年度				
応用化学専攻	2	50	—	100	1.11	平成27年度				
生命医用工学専攻	2	—	—	—	—	平成27年度				平成30年度より学生募集停止

(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(学術)	0.49						
数理物理学専攻	3	6	—	22	0.53	平成24年度				平成30年度から定員減 10→6	
地球生命物質科学専攻	3	11	—	39	0.41	平成24年度				平成30年度から定員減 17→11	
学際基礎科学専攻	3	10	—	20	0.45	平成30年度					
産業創成工学専攻	3	18	—	57	0.53	平成17年度				平成30年度から定員減 21→18	
応用化学専攻	3	5	—	17	0.60	平成27年度				平成30年度から定員減 7→5	
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	平成24年度				平成27年度より学生募集停止	
生命医用工学専攻	3	—	—	—	—	平成27年度				平成30年度より学生募集停止	
(博士課程) 5年一貫制				博士(理学), 博士(学術)	0.65						
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.65	平成21年度					
保健学研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(博士前期課程)				修士(看護学), 修士(保健学)	1.03						
保健学専攻	2	26	—	52	1.03	平成15年度					
(博士後期課程)				博士(看護学), 博士(保健学)	0.96						
保健学専攻	3	10	—	30	0.96	平成17年度					
環境生命科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(環境学), 修士(農学), 修士(学術)	0.85						
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	0.66	平成24年度					
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.93	平成24年度					
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.84	平成24年度					
生物資源科学専攻	2	25	—	50	0.88	平成24年度					
生物生産科学専攻	2	38	—	76	0.94	平成24年度					
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(環境学), 博士(農学), 博士(学術)	0.47						
環境科学専攻	3	22	—	66	0.46	平成24年度					
農生命科学専攻	3	20	—	60	0.50	平成24年度					
医歯薬学総合研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(修士課程)				修士(医学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術)	1.20						
医歯科学専攻	2	20	—	40	1.20	平成17年度					
(博士前期課程)					0.93						
薬科学専攻	2	37	—	74	0.93	平成22年度				平成30年度から定員減 40→37	
(博士後期課程)				博士(薬科学), 博士(薬学), 博士(学術)	0.18						
薬科学専攻	3	9	—	28	0.18	平成24年度				平成30年度から定員減 10→9	
(博士課程)				博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	1.01						
生体制御科学専攻	4	25	—	100	1.21	平成17年度					
病態制御科学専攻	4	62	—	248	0.99	平成17年度					
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112	0.86	平成17年度					
社会環境生命科学専攻	4	13	—	52	1.09	平成17年度					
ヘルスシステム統合科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(統合科学)	0.99						
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	—	160	0.99	平成30年度					
(博士後期課程)				博士(統合科学)	0.37						

ヘルシシステム統合科学専攻	3	16	—	32		0.37		平成30年度	
法務研究科 (専門職学位課程)					法務博士(専門職)	0.66			岡山市北区津島中三丁目1番1号
法務専攻	3	24	—	72		0.66		平成16年度	平成29年度から定員減 30→24
大学院全体		1,125	—	2,671	—	0.77	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 教職実践専攻(専門職学位課程)>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	氏名(年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	氏名(年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		
	担当授業科目名		担当授業科目名		職名	担当授業科目名	担当授業科目名		担当授業科目名
専任	教授	宮本 香代子 <平成30年4月>	宮本 香代子 <平成30年4月>	兼任	講師	宮本 香代子 <平成31年4月>	宮本 香代子 <平成31年4月>		
	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 生徒指導と発達支援教育A 教育実践特別研究(課題探究) 養護教育 教育実践特別研究(課題検証) 養護教育 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB <b>教育実践研究の方法ⅡA(養護教育)</b> <b>教育実践研究の方法ⅡB(養護教育)</b> <b>研修組織のデザインと実践</b> <b>子ども分析と学級経営A</b> <b>子ども分析と学級経営B</b> 生徒指導と発達支援教育A <b>生徒指導と発達支援教育B</b> 教育実践特別研究(課題探究) 養護教育 教育実践特別研究(課題検証) 養護教育 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 学校保健・学校安全とリスクマネジメントC スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			
専任	准教授	小林 万里子 <平成30年4月>	小林 万里子 <平成30年4月>	専任	准教授	小林 万里子 <平成30年4月>	小林 万里子 <平成30年4月>		
	特色あるカリキュラムの開発A 特色あるカリキュラムの開発B 道徳科の理論と実践A 道徳科の理論と実践B 教育実践研究の方法ⅠA 教育実践研究の方法ⅠB 生徒指導と発達支援教育A 教育実践特別研究(課題探究) カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証) カリキュラム スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		特色あるカリキュラムの開発A 特色あるカリキュラムの開発B 道徳科の理論と実践A 道徳科の理論と実践B 教育実践研究の方法ⅠA 教育実践研究の方法ⅠB <b>教育実践研究の方法ⅡA(カリキュラム)</b> <b>教育実践研究の方法ⅡB(カリキュラム)</b> 生徒指導と発達支援教育A <b>生徒指導と発達支援教育B</b> 教育実践特別研究(課題探究) カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証) カリキュラム スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			特色あるカリキュラムの開発A 特色あるカリキュラムの開発B 道徳科の理論と実践A 道徳科の理論と実践B 教育実践研究の方法ⅠA 教育実践研究の方法ⅠB 教育実践研究の方法ⅠA 教育実践研究の方法ⅠB <b>教育実践研究の方法ⅡA(カリキュラム)</b> <b>教育実践研究の方法ⅡB(カリキュラム)</b> 生徒指導と発達支援教育A <b>生徒指導と発達支援教育B</b> 教育実践特別研究(課題探究) カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証) カリキュラム スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			
専任	准教授	森安 史彦 <平成30年4月>	森安 史彦 <平成30年4月>	専任	准教授	森安 史彦 <平成30年4月>	森安 史彦 <平成30年4月>		
	教育課程編成の実践と課題A 教育課程編成の実践と課題B 特色あるカリキュラムの開発A 特色あるカリキュラムの開発B 子ども分析と学級経営A 子ども分析と学級経営B 校内研修のマネジメントとコンサルテーションA 校内研修のマネジメントとコンサルテーションB アクティブラーニングの理論と実践 教育実践特別研究(課題探究) マネジメント 教育実践特別研究(課題検証) マネジメント スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		教育課程編成の実践と課題A 教育課程編成の実践と課題B 特色あるカリキュラムの開発A 特色あるカリキュラムの開発B <b>学校教育の役割と教員の職能開発A</b> <b>学校教育の役割と教員の職能開発B</b> <b>教育実践研究の方法ⅡA(マネジメント)</b> <b>教育実践研究の方法ⅡB(マネジメント)</b> 子ども分析と学級経営A 子ども分析と学級経営B 校内研修のマネジメントとコンサルテーションA 校内研修のマネジメントとコンサルテーションB 校内研修のマネジメントとコンサルテーションC アクティブラーニングの理論と実践 教育実践特別研究(課題探究) マネジメント 教育実践特別研究(課題検証) マネジメント スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			教育課程編成の実践と課題A 教育課程編成の実践と課題B 特色あるカリキュラムの開発A 特色あるカリキュラムの開発B <b>学校教育の役割と教員の職能開発A</b> <b>学校教育の役割と教員の職能開発B</b> <b>教育実践研究の方法ⅡA(マネジメント)</b> <b>教育実践研究の方法ⅡB(マネジメント)</b> 子ども分析と学級経営A 子ども分析と学級経営B 校内研修のマネジメントとコンサルテーションA 校内研修のマネジメントとコンサルテーションB 校内研修のマネジメントとコンサルテーションC アクティブラーニングの理論と実践 教育実践特別研究(課題探究) マネジメント 教育実践特別研究(課題検証) マネジメント スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			



専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
実専	村松 敦 <平成30年4月>	准教授	村松 敦 <平成30年4月>	准教授	高瀬 典久 <平成31年4月>	准教授		
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名			
	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 子ども分析と学級経営A 子ども分析と学級経営B 教育実践特別研究(課題探究) 地域協働 教育実践特別研究(課題検証) 地域協働 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 教育実践研究の方法ⅡA(カリキュラム) 教育実践研究の方法ⅡB(カリキュラム) 子ども分析と学級経営A 子ども分析と学級経営B 教育実践特別研究(課題探究) 地域協働 教育実践特別研究(課題検証) 地域協働 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 教育実践研究の方法ⅡA(カリキュラム) 教育実践研究の方法ⅡB(カリキュラム) 子ども分析と学級経営A 子ども分析と学級経営B スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践特別研究(課題探究) カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証) カリキュラム 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			
実専	仲矢 明孝 <平成30年4月>	教授	仲矢 明孝 <平成30年4月>	教授	仲矢 明孝 <平成31年4月>	教授(特任)		
	特別支援教育の実践と課題A 特別支援教育の実践と課題B 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB 特別支援教育コーディネーター実践論A 特別支援教育コーディネーター実践論B 教育実践特別研究(課題探究) 特別支援教育 教育実践特別研究(課題検証) 特別支援教育 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅱ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		特別支援教育の実践と課題A 特別支援教育の実践と課題B 教育実践研究の方法ⅡA(特別支援教育) 教育実践研究の方法ⅡB(特別支援教育) 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB 特別支援教育コーディネーター実践論A 特別支援教育コーディネーター実践論B 教育実践特別研究(課題探究) 特別支援教育 教育実践特別研究(課題検証) 特別支援教育 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅱ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D		教育実践研究の方法ⅡA(地域協働) 教育実践研究の方法ⅡB(地域協働) 教育実践特別研究(課題検証) 地域協働 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			
					宮崎 善紀 <平成31年4月>	准教授		
					特別支援教育の実践と課題A 特別支援教育の実践と課題B 教育実践研究の方法ⅡA(特別支援教育) 教育実践研究の方法ⅡB(特別支援教育) 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB 特別支援教育コーディネーター実践論A 特別支援教育コーディネーター実践論B 教育実践特別研究(課題探究) 特別支援教育 教育実践特別研究(課題検証) 特別支援教育 スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅱ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D			













専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名		
				専	講師	高岡 敏史 <平成30年4月>	高岡 敏史 <平成30年4月>	専	准教授	高岡 敏史 <平成30年4月>	高岡 敏史 <平成30年4月>						
							生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 教育実践研究の方法ⅠA 教育実践研究の方法ⅠB 教育実践研究の方法ⅡA(保健体育) 教育実践研究の方法ⅡB(保健体育) 教科のデザインと実践(保健体育) 教師の職能成長とコーチングA 教師の職能成長とコーチングB 教育実践特別研究(課題探究) 保健体育 教育実践特別研究(課題検証) 保健体育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
実専	教授(特任)	妹尾 一造 <平成30年4月>	妹尾 一造 <平成30年4月>	実専	教授(特任)	妹尾 一造 <平成30年4月>	妹尾 一造 <平成30年4月>	実専	教授(特任)	内藤 聖二 <平成31年4月>	内藤 聖二 <平成31年4月>	実専	教授(特任)	内藤 聖二 <平成31年4月>	内藤 聖二 <平成31年4月>		
							教育実践研究の方法ⅡA(技術教育) 教育実践研究の方法ⅡB(技術教育) 教科のデザインと実践(技術教育) 教育実践特別研究(課題探究) 技術教育 教育実践特別研究(課題検証) 技術教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
							教育実践研究の方法ⅡA(技術教育) 教育実践研究の方法ⅡB(技術教育) 教科のデザインと実践(技術教育) 学校におけるICT活用 教育実践特別研究(課題探究) 技術教育 教育実践特別研究(課題検証) 技術教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
実専	教授(特任)	栗坂 祐子 <平成30年4月>	栗坂 祐子 <平成30年4月>	実専	教授(特任)	栗坂 祐子 <平成30年4月>	栗坂 祐子 <平成30年4月>	実専	教授(特任)	栗坂 祐子 <平成30年4月>	栗坂 祐子 <平成30年4月>	実専	教授(特任)	栗坂 祐子 <平成30年4月>	栗坂 祐子 <平成30年4月>		
							教育実践研究の方法ⅡA(家庭科教育) 教育実践研究の方法ⅡB(家庭科教育) 教科のデザインと実践(家庭科教育) 教育実践特別研究(課題探究) 家庭科教育 教育実践特別研究(課題検証) 家庭科教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
							教育実践研究の方法ⅡA(家庭科教育) 教育実践研究の方法ⅡB(家庭科教育) 教科のデザインと実践(家庭科教育) 教育実践特別研究(課題探究) 家庭科教育 教育実践特別研究(課題検証) 家庭科教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
専	教授	高塚 成信 <平成30年4月>	高塚 成信 <平成30年4月>	専	教授	高塚 成信 <平成30年4月>	高塚 成信 <平成30年4月>	専	教授	高塚 成信 <平成30年4月>	高塚 成信 <平成30年4月>	専	教授	高塚 成信 <平成30年4月>	高塚 成信 <平成30年4月>		
							教育実践研究の方法ⅡA(英語教育) 教育実践研究の方法ⅡB(英語教育) 教科のデザインと実践(英語教育) 小学校英語の理論と実践 教育実践特別研究(課題探究) 英語教育 教育実践特別研究(課題検証) 英語教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
							教育実践研究の方法ⅡA(英語教育) 教育実践研究の方法ⅡB(英語教育) 教科のデザインと実践(英語教育) 小学校英語の理論と実践 教育実践特別研究(課題探究) 英語教育 教育実践特別研究(課題検証) 英語教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅰ(課題分析) 教育実践研究Ⅱ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	教授	松枝 睦美 <平成30年4月> 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D	専	教授	松枝 睦美 <平成30年4月> 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 教育実践研究の方法ⅡA(養護教育) 教育実践研究の方法ⅡB(養護教育) 学校保健のデザインと実践 教育実践特別研究(課題探究) 養護教育 教育実践特別研究(課題検証) 養護教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D	専	教授	松枝 睦美 <平成30年4月> 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A 生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B 学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 教育実践研究の方法ⅡA(養護教育) 教育実践研究の方法ⅡB(養護教育) 学校保健のデザインと実践 教育実践特別研究(課題探究) 養護教育 教育実践特別研究(課題検証) 養護教育 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D				
専	教授	未定 <平成30年4月> 教育実践研究の方法ⅠA 教育実践研究の方法ⅠB 授業アセスメント技術とその応用A 授業アセスメント技術とその応用B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D										
						実専	教授	前田 暎 <平成31年4月> 教育実践研究の方法ⅡA(地域協働) 教育実践研究の方法ⅡB(地域協働) 教育実践特別研究(課題検証) 地域協働 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D				
						実専	教授(特任)	赤木 恭吾 <平成31年4月> 学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB スクールリーダーと組織開発A スクールリーダーと組織開発B 教育実践研究Ⅰ(課題発見) 教育実践研究Ⅱ(課題解決) 教育実践研究Ⅲ(課題分析) 教育実践研究Ⅳ(課題提案) 課題発見実習 課題解決実習 課題探究実習 課題分析実習 課題検証実習 教育実践特別実習A 教育実践特別実習B 教育実践特別実習C 教育実践特別実習D				
兼任	教授	佐藤 暎 <平成30年4月> 特別支援教育の実践と課題A 特別支援教育の実践と課題B 特別支援教育コーディネーター実践論A 特別支援教育コーディネーター実践論B	兼任	教授	佐藤 暎 <平成30年4月> 特別支援教育の実践と課題A 特別支援教育の実践と課題B 特別支援教育コーディネーター実践論A 特別支援教育コーディネーター実践論B	兼任	教授	佐藤 暎 <平成30年4月> 特別支援教育の実践と課題A 特別支援教育の実践と課題B 特別支援教育コーディネーター実践論A 特別支援教育コーディネーター実践論B				
兼任	教授	大竹 喜久 <平成30年4月> 生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB	兼任	教授	大竹 喜久 <平成30年4月> 生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA	兼任	教授	大竹 喜久 <平成30年4月> 生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B 通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA				



専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
兼任	高旗 浩志 <平成30年4月>	アクティブラーニングの理論と実践 教育実践演習A 教育実践演習B 教育実践演習C 教育実践演習D 教育実践特別研究(課題探究)カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証)カリキュラム	兼任	高旗 浩志 <平成30年4月>	教材開発と授業デザインA 教材開発と授業デザインB 授業アセスメント技術とその応用A 授業アセスメント技術とその応用B アクティブラーニングの理論と実践 教育実践演習A 教育実践演習B 教育実践演習C 教育実践演習D 教育実践特別研究(課題探究)カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証)カリキュラム	兼任	高旗 浩志 <平成30年4月>	アクティブラーニングの理論と実践 教育実践演習A 教育実践演習B 教育実践演習C 教育実践演習D 教育実践特別研究(課題探究)カリキュラム 教育実践特別研究(課題検証)カリキュラム			
兼任	山崎 光洋 <平成30年4月>	学校におけるICT活用 CST教育の理論と実践	兼任	山崎 光洋 <平成30年4月>	学校におけるICT活用 CST教育の理論と実践	兼任	山崎 光洋 <平成30年4月>	学校におけるICT活用 CST教育の理論と実践			
兼任	久戸 瀬 有 <平成30年4月>	生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B	兼任	久戸 瀬 有 <平成30年4月>	生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B	兼任	久戸 瀬 有 <平成30年4月>	生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B			
兼任	伊藤 武彦 <平成30年4月>	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 教育実践研究の方法I A 教育実践研究の方法I B	兼任	伊藤 武彦 <平成30年4月>	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 教育実践研究の方法I A 教育実践研究の方法I B	兼任	伊藤 武彦 <平成30年4月>	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA 学校保健・学校安全とリスクマネジメントB 教育実践研究の方法I A 教育実践研究の方法I B			
兼任	吉利 宗久 <平成30年4月>	特別支援教育コーディネーター 実践論A 特別支援教育コーディネーター 実践論B	兼任	吉利 宗久 <平成30年4月>	特別支援教育の実践と評価A 特別支援教育コーディネーター 実践論A 特別支援教育コーディネーター 実践論B	兼任	吉利 宗久 <平成30年4月>	特別支援教育コーディネーター 実践論A 特別支援教育コーディネーター 実践論B			
兼任	丹治 敬之 <平成30年4月>	特別支援教育コーディネーター 実践論A 特別支援教育コーディネーター 実践論B	兼任	丹治 敬之 <平成30年4月>	特別支援教育コーディネーター 実践論A 特別支援教育コーディネーター 実践論B	兼任	丹治 敬之 <平成30年4月>	特別支援教育コーディネーター 実践論A 特別支援教育コーディネーター 実践論B			
兼任	橋本 拓治 <平成30年4月>	学級・学年・学校経営の実践と課題A 学級・学年・学校経営の実践と課題B 教育実践研究の方法I A 教育実践研究の方法I B 教師の職能成長とコーチングA 教師の職能成長とコーチングB									
						兼任	岡崎 尊弘 <平成31年4月>	学習指導の実践と評価A 学習指導の実践と評価B			
兼任	黒崎 東洋郎 <平成30年4月>	授業の指導計画と学習開発A 授業の指導計画と学習開発B	兼任	黒崎 東洋郎 <平成30年4月>	教育実践研究の方法I A 教育実践研究の方法I B	兼任	黒崎 東洋郎 <平成31年4月>	教育実践研究の方法I A 教育実践研究の方法I B			
			兼任	渡邊 満 <平成30年4月>	生徒指導と発達支援教育A 生徒指導と発達支援教育B						

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**既出職又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の誕生日**を記入してください。  
・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>・宮本香代子 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「学校保健のデザインと実践」を担当。 カリキュラム充実のために「子ども分析と学級経営A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「子ども分析と学級経営B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「生徒指導と発達支援教育B」の担当を追加。</p>
<p>・小林万里子 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（カリキュラム）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（カリキュラム）」を担当。 カリキュラム充実のために「生徒指導と発達支援教育B」の担当を追加。</p>
<p>・森安史彦 カリキュラム充実のために「学校教育の役割と教員の職能開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学校教育の役割と教員の職能開発B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（マネジメント）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（マネジメント）」を担当。</p>
<p>・高瀬淳 カリキュラム充実のために「教育課程編成の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育課程編成の実践と課題B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（カリキュラム）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（カリキュラム）」を担当。</p>
<p>・宮本浩治 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（地域協働）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（地域協働）」を担当。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅡA（国語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅡB（国語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教科のデザインと実践（国語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）国語教育」の担当を追加。</p>
<p>・平成30年4月 梶原敏教授（特任）就任。 計画していた科目に加え、 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（地域協働）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（地域協働）」を担当。 カリキュラム充実のために「道徳科の理論と実践A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「道徳科の理論と実践B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「校内研修のマネジメントとコンサルテーションA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「校内研修のマネジメントとコンサルテーションB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育法規の理論と実務演習A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育法規の理論と実務演習B」の担当を追加。</p>
<p>・村松敦 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（カリキュラム）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（カリキュラム）」を担当。</p>
<p>・仲矢明孝 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（特別支援教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（特別支援教育）」を担当。</p>
<p>・金川舞貴子 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（マネジメント）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（マネジメント）」を担当。</p>
<p>・今井康好 担当教員の見直しにより「学校教育の役割と教員の職能開発A」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「学校教育の役割と教員の職能開発B」の担当から外す。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（マネジメント）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（マネジメント）」を担当。</p>
<p>・熊谷慎之輔 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（地域協働）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（地域協働）」を担当。</p>
<p>・三沢良 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅠA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅠB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡA（マネジメント）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法ⅡB（マネジメント）」を担当。 カリキュラム充実のために「校内研修のマネジメントとコンサルテーションA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「校内研修のマネジメントとコンサルテーションB」の担当を追加。</p>
<p>・松田聡 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインB」の担当を追加。</p>
<p>・山田秀和 カリキュラム充実のために「教育課程編成の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育課程編成の実践と課題B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「特色あるカリキュラムの開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「特色あるカリキュラムの開発B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発B」の担当を追加。</p>
<p>・平成30年4月 榎野滋子教授（特任）就任。 計画していた科目に加え、 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅡA（国語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅡB（国語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教科のデザインと実践（国語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）国語教育」の担当を追加。</p>
<p>・川田カ カリキュラム充実のために「特色あるカリキュラムの開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「特色あるカリキュラムの開発B」の担当を追加。</p>
<p>・岡崎正和 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発B」の担当を追加。</p>
<p>・平井安久 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅡA（数学教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法ⅡB（数学教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学習指導の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学習指導の実践と課題B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教科のデザインと実践（数学教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）数学教育」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題検証）数学教育」の担当を追加。</p>

<p>・藤井浩樹 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業の指導計画と学習開発B」の担当を追加。</p>
<p>・川崎弘作 カリキュラム充実のために「教育課程編成の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育課程編成の実践と課題B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「指導と評価の理論と実践A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「指導と評価の理論と実践B」の担当を追加。</p>
<p>・平成30年4月 服部康正教授（特任）就任。 計画していた科目に加え、 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II A（地域協働）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II B（地域協働）」を担当。</p>
<p>・平成30年4月 松田和子教授（特任）就任。 計画していた科目に加え、 カリキュラム充実のために「子ども分析と学級経営A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「子ども分析と学級経営B」の担当を追加。</p>
<p>・平成30年4月 大倉尚志教授（特任）就任。 計画していた科目に加え、 カリキュラム充実のために「学習指導の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学習指導の実践と課題B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「スクールリーダーと組織開発A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「スクールリーダーと組織開発B」の担当を追加。</p>
<p>・教育の充実の観点から高岡教史（専任）を追加。 「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A」、「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B」、「教育実践研究の方法I A」、「教育実践研究の方法I B」、「教育実践研究の方法II A（保健体育）」、「教育実践研究の方法II B（保健体育）」、「教科のデザインと実践（保健体育）」、「教師の職能成長とコーチングA」、「教師の職能成長とコーチングB」、「教育実践特別研究（課題探究）保健体育」、「教育実践特別研究（課題検証）保健体育」、「教育実践研究I（課題発見）」、「教育実践研究II（課題解決）」、「教育実践研究I（課題分析）」、「教育実践研究II（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」、「課題検証実習」、「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・妹尾一造 カリキュラム充実のために「学校におけるICT活用」の担当を追加。</p>
<p>・スコット・ガードナー カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法II A（英語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法II B（英語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教科のデザインと実践（英語教育）」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「小学校英語の理論と実践」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）英語教育」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題検証）英語教育」の担当を追加。</p>
<p>・榎方百熊 カリキュラム充実のために「学級・学年・学校経営の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学級・学年・学校経営の実践と課題B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II A（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II B（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために「指導と評価の理論と実践A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「指導と評価の理論と実践B」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「学校保健のデザインと実践」を担当。</p>
<p>・三村由香里 カリキュラム充実のために「学校保健・学校安全とリスクマネジメントA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学校保健・学校安全とリスクマネジメントB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II A（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II B（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「学校保健のデザインと実践」を担当。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）養護教育」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題検証）養護教育」の担当を追加。</p>
<p>・松枝睦美 カリキュラム充実のために「学校保健・学校安全とリスクマネジメントA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学校保健・学校安全とリスクマネジメントB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II A（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「教育実践研究の方法II B（養護教育）」を担当。 カリキュラム充実のために新設した「学校保健のデザインと実践」を担当。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）養護教育」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題検証）養護教育」の担当を追加。</p>
<p>・未定（教授） 「教育実践研究の方法I A」、「教育実践研究の方法I B」、「授業アセスメント技術とその応用A」、「授業アセスメント技術とその応用B」、「教育実践研究I（課題発見）」、「教育実践研究II（課題解決）」、「教育実践研究I（課題分析）」、「教育実践研究II（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」、「課題検証実習」、「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」は他の教員が担当。</p>
<p>・高旗浩志 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインA」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教材開発と授業デザインB」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業アセスメント技術とその応用A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「授業アセスメント技術とその応用B」の担当を追加。</p>
<p>・吉利宗久 カリキュラム充実のために「特別支援教育の実践と課題A」の担当を追加。</p>
<p>・橋本拓治 担当教員の見直しにより「学級・学年・学校経営の実践と課題A」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「学級・学年・学校経営の実践と課題B」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「教育実践研究の方法I A」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「教育実践研究の方法I B」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「教師の職能成長とコーチングA」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「教師の職能成長とコーチングB」の担当から外す。</p>
<p>・黒崎東洋郎 担当教員の見直しにより「授業の指導計画と学習開発A」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「授業の指導計画と学習開発B」の担当から外す。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法I A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「教育実践研究の方法I B」の担当を追加。</p>
<p>・教育の充実の観点から渡邊満（兼任）を追加 カリキュラム充実のために「生徒指導と発達支援教育A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「生徒指導と発達支援教育B」の担当を追加。</p>

【令和元年度】

<p>・宮本審代子 平成31年3月 定年退職により、実専を兼任に変更。 「学校保健・学校安全とリスクマネジメントA」、「学校保健・学校安全とリスクマネジメントB」、「スクールリーダーと組織開発A」、「スクールリーダーと組織開発B」を担当。</p>
<p>・小林万里子 カリキュラム充実のために「子ども分析と学級経営A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「子ども分析と学級経営B」の担当を追加。</p>
<p>・宮本浩治 担当教員の見直しにより「教育実践研究の方法ⅡA（国語教育）」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「教育実践研究の方法ⅡB（国語教育）」の担当を外す。 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題検証）国語教育」の担当を追加。</p>
<p>・梶原毅 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）地域協働」の担当を追加。</p>
<p>・村松敦 平成31年3月 退職。</p>
<p>・平成31年4月 高橋典久准教授就任。 「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A」、「生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B」、「教育実践研究の方法ⅡA（カリキュラム）」 「教育実践研究の方法ⅡB（カリキュラム）」、「子ども分析と学級経営A」、「子ども分析と学級経営B」、「スクールリーダーと組織開発A」 「スクールリーダーと組織開発B」、「教育実践特別研究（課題探究）カリキュラム」、「教育実践特別研究（課題検証）カリキュラム」 「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」、「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」、「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」 「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」、「課題検証実習」、「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」 「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・仲矢明孝 平成31年4月 教授（特任）に職名変更。 担当教員の見直しにより「特別支援教育の実践と課題A」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「特別支援教育の実践と課題B」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「教育実践研究の方法ⅡA（特別支援教育）」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「教育実践研究の方法ⅡB（特別支援教育）」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「特別支援教育コーディネーター実践論A」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「特別支援教育コーディネーター実践論B」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「教育実践特別研究（課題探究）特別支援教育」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「教育実践特別研究（課題検証）特別支援教育」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「スクールリーダーと組織開発A」の担当を外す。 担当教員の見直しにより「スクールリーダーと組織開発B」の担当を外す。 カリキュラムの充実のために「教育実践研究の方法ⅡA（地域協働）」の担当を追加。 カリキュラムの充実のために「教育実践研究の方法ⅡB（地域協働）」の担当を追加。 カリキュラムの充実のために「教育実践特別研究（課題検証）地域協働」の担当を追加。</p>
<p>・平成31年4月 宮崎善部准教授就任。 「特別支援教育の実践と課題A」、「特別支援教育の実践と課題B」、「教育実践研究の方法ⅡA（特別支援教育）」、「教育実践研究の方法ⅡB（特別支援教育）」 「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA」、「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB」、「特別支援教育コーディネーター実践論A」 「特別支援教育コーディネーター実践論B」、「スクールリーダーと組織開発A」、「スクールリーダーと組織開発B」、「教育実践特別研究（課題探究）特別支援教育」 「教育実践特別研究（課題検証）特別支援教育」、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」、「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」 「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」、「課題検証実習」、「教育実践特別実習A」 「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・三沢良 平成31年4月 准教授昇任。</p>
<p>・服部康正 カリキュラム充実のために「教育実践特別研究（課題探究）地域協働」の担当を追加。</p>
<p>・高岡敦史 平成31年4月 准教授昇任。</p>
<p>・妹尾一暎 平成31年3月 退職。</p>
<p>・平成31年4月 内藤憲二教授（特任）就任。 「教育実践研究の方法ⅡA（技術教育）」、「教育実践研究の方法ⅡB（技術教育）」、「教科のデザインと実践（技術教育）」、「学校におけるICT活用」 「教育実践特別研究（課題探究）技術教育」、「教育実践特別研究（課題検証）技術教育」、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」 「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」、「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」 「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・平成31年4月 ショウナ・キャロル講師就任。 「教育実践研究の方法ⅡA（英語教育）」、「教育実践研究の方法ⅡB（英語教育）」、「教科のデザインと実践（英語教育）」、「小学校英語の理論と実践」 「教育実践特別研究（課題探究）英語教育」、「教育実践特別研究（課題検証）英語教育」、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」 「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」、「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」 「課題検証実習」、「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・平成31年4月 前田深教授就任。 「教育実践研究の方法ⅡA（地域協働）」、「教育実践研究の方法ⅡB（地域協働）」、「教育実践特別研究（課題検証）地域協働」、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」 「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」、「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」、「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」 「課題分析実習」、「課題検証実習」、「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・平成31年4月 赤木恭吾教授（特任）就任。 「学校保健・学校安全とリスクマネジメントA」、「学校保健・学校安全とリスクマネジメントB」、「スクールリーダーと組織開発A」 「スクールリーダーと組織開発B」、「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」、「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」、「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」 「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」、「課題発見実習」、「課題解決実習」、「課題探究実習」、「課題分析実習」、「課題検証実習」 「教育実践特別実習A」、「教育実践特別実習B」、「教育実践特別実習C」、「教育実践特別実習D」を担当。</p>
<p>・吉利宗久 平成31年4月 教授昇任。 担当教員の見直しにより「特別支援教育の実践と課題A」の担当から外す。</p>
<p>・教育の充実の観点から岡崎善弘（兼担）を追加 カリキュラム充実のために「学習指導の実践と課題A」の担当を追加。 カリキュラム充実のために「学習指導の実践と課題B」の担当を追加。</p>
<p>・渡邊満 担当教員の見直しにより「生徒指導と発達支援教育A」の担当から外す。 担当教員の見直しにより「生徒指導と発達支援教育B」の担当から外す。</p>

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **既かで設置された学級等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要教 授数	専任教員数のうち、 完成年度時における 設置基準上の必要実 務家教員数
32 名	16 名	13 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【教職大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
23	8	2	0	33	23	11	2	0	36
(22)	(8)	(3)	(0)	(33)					
研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数		
17	16	0			21	15	0		
(20)	(13)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
23	11	2	0	36	23	11	2	0	36
[0]	[3]	[0]	[0]	[3]	[0]	[3]	[0]	[0]	[3]
研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数			研究者教員数	実務家教員数	講義のみ担当の教員数		
21	15	0			21	15	0		
[4]	[Δ1]	[0]			[4]	[Δ1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要費済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{36}{33} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
該当なし	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	村松 敦	H31.3	必修	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題AB	①	H31.3.31付け岡山県教育委員会との人事交流終了のため辞任（元）
				必修	教育実践研究の方法ⅡAB（カリキュラム）	①	
				選択	子ども分析と学級経営AB	①	
				必修	教育実践特別研究（課題探究）カリキュラム	①	
				必修	教育実践特別研究（課題検証）カリキュラム	①	
				選択	スクールリーダーと組織開発AB	①	
				必修	教育実践研究Ⅰ（課題発見）	①	
				必修	教育実践研究Ⅱ（課題解決）	①	
				必修	教育実践研究Ⅰ（課題分析）	①	
				必修	教育実践研究Ⅱ（課題提案）	①	
				必修	課題発見実習	①	
				必修	課題解決実習	①	
				必修	課題探究実習	①	
				必修	課題分析実習	①	
必修	課題提案実習	①					
				選択	教育実践特別実習ABCD	①	
				必修	教育実践研究の方法ⅡAB（技術教育）	①	
				必修	教科のデザインと実践（技術教育）	①	

2	教授 (特任)	妹尾 一道	H31.3	選択	学校におけるICTの活用	①	H31.3.31付け任期満了のため辞任(元)		
				必修	教育実践特別研究(課題探究)技術教育	①			
				必修	教育実践特別研究(課題検証)技術教育	①			
				必修	教育実践研究Ⅰ(課題発見)	①			
				必修	教育実践研究Ⅱ(課題解決)	①			
				必修	教育実践研究Ⅰ(課題分析)	①			
				必修	教育実践研究Ⅱ(課題提案)	①			
				必修	課題発見実習	①			
				必修	課題解決実習	①			
				必修	課題探究実習	①			
				必修	課題分析実習	①			
				必修	課題提案実習	①			
				選択	教育実践特別実習ABCD	①			
合計(F)			後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	31 科目	必修	31 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	42 科目	計	42 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	31 科目	必修	31 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	11 科目	選択	11 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	42 科目	計	42 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{33} = \boxed{6.06} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	宮本 香代子	必修	学校保健・学校安全とリスクマネジメントAB	①	H31.3.31付け65歳で定年退職（元）
			必修	教職実践研究の方法ⅡAB（養護教育）	①	
			必修	学校保健のデザインと実践	①	
			選択	子ども分析と学級経営AB	①	
			選択	成都指導と発達支援教育AB	①	
			必修	教育実践特別研究（課題探究）養護教育	①	
			必修	教育実践特別研究（課題検証）養護教育	①	
			選択	スクールリーダーと組織開発AB	①	
			必修	教育実践研究Ⅰ（課題発見）	①	
			必修	教育実践研究Ⅱ（課題解決）	①	
			必修	教育実践研究Ⅰ（課題分析）	①	
			必修	教育実践研究Ⅱ（課題提案）	①	
			必修	課題発見実習	①	
			必修	課題解決実習	①	
			必修	課題探究実習	①	
			必修	課題分析実習	①	
			必修	課題提案実習	①	
			選択	教育実践特別実習ABCD	①	
2	教授	仲矢 明孝	必修	特別支援教育の実践と課題AB	①	H31.3.31付け65歳で定年退職（元）
			必修	教職実践研究の方法ⅡAB（特別支援教育）	①	
			選択	通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりAB	①	
			選択	特別支援教育コーディネーター実践論AB	①	
			必修	教育実践特別研究（課題探究）特別支援教育	①	
			必修	教育実践特別研究（課題検証）特別支援教育	①	
			選択	スクールリーダーと組織開発AB	①	
			必修	教育実践研究Ⅰ（課題発見）	①	
			必修	教育実践研究Ⅱ（課題解決）	①	
			必修	教育実践研究Ⅰ（課題分析）	①	
			必修	教育実践研究Ⅱ（課題提案）	①	
			必修	課題発見実習	①	
			必修	課題解決実習	①	



			必修	課題探究実習	①					
			必修	課題分析実習	①					
			必修	課題提案実習	①					
			選択	教育実践特別実習 ABCD	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
2	人	必修	31	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	29	科目	選択	20	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	51	科目	計	51	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員辞任による学生の履修等への影響は、同じ研究分野で後任を採用できていることや他の専任教員が担当するなど影響がないように配慮している。学生にはシラバス等で周知している。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <教育学研究科 教職実践専攻（専門職学位課程）>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 46単位 必修科目24単位、選択科目12単位、学校における実習科目10単位</p> <p>② 施設・設備 a 講義室23室 (1,792㎡) b 自習室2室 (141㎡) c 図書2,033,948冊 研究科単位で特定不明なため、大学全体の数</p>	<p>① 変更なし。</p> <p>② 入学定員の増加（45名/学年）に伴う学生の修学環境を整備・改善するため、主として教職大学院の共通科目を開講する講義室1室を確保するとともに、入学定員数に対応した机・椅子・ロッカー等を備えた学生自習室を設けた。購入・廃棄により、図書冊数変動。（元）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教職大学院の管理運営組織である専攻運営委員会の下にFD・研究部門（小委員会）を常置し、教員の資質の維持向上に向けた取組を企画・実施・改善する体制となっている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>専攻運営委員会は、教職大学院専任教員全員から構成される組織であり、月1回の定例委員会が開催されている。FD・研究部門は、6名の専任教員から構成され、概ね月1回程度の頻度で開催されている。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・研究部門では、主に教職大学院専任教員による組織的な研究活動（共同研究）に関すること、教職大学院の自己点検評価・FDに関することなどが審議される。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 共同研究の推進による教育内容・方法の改善 (2) 授業公開・ピアレビューの実施（教員相互の授業参観） (3) 他教職大学院との合同FD研修会 (4) 新規担当教員を対象とした説明会 等</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1) については、教職大学院自らの教育活動をテーマとした共同研究を継続的に設定し、その成果を関連学会や日本教育大学協会等で発表・投稿している。(2)については、年1回程度、指定された授業を公開し、授業参観するとともに、その後の授業検討会を行っている。(3)については、他教職大学院との合同FD研修会を年1回程度を開催し、相互の教育内容・教育方法に関する研究交流を行っている（H28：京都教育大学、H29：福岡教育大学、H30：島根大学）。(4)については、平成29年12月～平成30年4月の間に3回開催し、教職大学院の理念、養成する人材像、カリキュラムの特色などについて説明している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1)～(3)については、教職大学専任教員の全員が参加している。(4)については、平成30年度より新たに教職大学院の専任教員となる19名を対象としたものであり、10～19名が参加している。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>FD・研究の実施結果については、FD・研究部門によって取りまとめられ、専攻運営委員会で報告された上で、教職大学院における教育研究活動の分析・改善に向けた資料として用いられる。また、必要に応じて、教務部門等と連携し、具体的な改善案を策定する体制となっている。</p>
---

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学生による授業評価は、「全学教育・学生支援機構教育開発センター」が学期ごとに実施しているものを活用している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は授業担当者並びに責任者に送付され、教員活動評価の指標の一つになるとともに、各教員の授業改善に活用されている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況(各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

平成31年1月16日付けで岡山大学大学院教育学研究科教育課程連絡協議会設置要項を制定し、平成31年4月1日付けで施行した。

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

平成30年度は教育課程連携協議会の開催実績はないが、平成30年12月26日(水)岡山大学大学院教育学研究科・教育学部・教師教育開発センターと岡山県教育委員会及び岡山市教育委員会との合同連携協議会において、教育課程連絡協議会設置について協議し、教育課程連携協議会の審議事項等を決定した。なお、本学からは、15名の教員が参加した。

c 委員会の審議事項等

1. 教育委員会等との連携による授業科目の開発及び開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
2. 教育委員会等との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項
3. その他連携協議会が必要と認める事項

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

令和元年度より設置のため、平成30年度の審議実績はない。

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

令和元年度より設置のため、平成30年度の審議実績はない。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

令和元年度より設置のため、平成30年度の審議実績はない。

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本教職大学院は、現職教員の再教育及び学部新卒学生の実践力を高める場として質的・量的充実を図るとともに、現在の学校教育が抱える多様で複雑な教育課題に対応できる高度教育実践力を有した教員養成と教員研修の機能を拡充・強化することを目的として改組された。そこでは、理論と実践の往還とその協働化により、「アクション・リサーチとしての教師」の育成が目指され、全10教科、養護及び特別支援に関する教職大学院専任教員の専門性を踏まえた高度教育実践力の育成の充実が図られている。平成30年度の教育研究活動がスタートした段階であるが、教科等の枠を越えた主・副指導教員（計3名）を配置する指導体制が組まれるなど、教職大学院専任教員の専門性を反映した教育研究活動が概ね順調に行われていると評価できる。

##### ② 自己点検・評価報告書

教職大学院の認証評価の時期に合わせて、5年に1回、自己評価書を作成するとともに、その評価結果を公表する。作成・公表する年度以外には、専攻運営委員会の下に設けられた各部門（小委員会）が、認証評価に必要なデータ・根拠資料等を継続的に収集・管理するとともに、専攻運営委員会に報告し、それを教育研究活動の改善に向けた内部資料として活用する。

###### a 公表（予定）時期

- ・平成30年4月1日 公表（次回予定 令和5年4月1日）

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成30年4月）

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（教員養成評価機構）の評価を受審した（次回は令和4年度を予定）。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ・  無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和 元 年 8 月 3 1 日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。